

科目名	CSU (コミュニケーションスキルアップ)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 岡田弘子
学科・コース	クリエイティブデザイン科 1年AB	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (1)	
教員の略歴	2007年度よりCSU講師 日本カウンセリング学会カウンセリング心理士 心療内科非常勤カウンセラー					
授業の学習 内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会にデビューするためのトレーニング。 仕事に必要なコミュニケーション力に磨きをかけていきます。 2. 授業でのワーク体験や教科書学習を通して、「CSU検定」合格を目指します。 					
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的なコミュニケーション力をアップ！ ⇒話をして自分のことをわかってもらう。また、話を聴いて相手のことを理解していく。 2. 自己表現力をアップ！ ⇒自分が思っていること、感じていること、考えていることをきちんと言葉にして相手に伝える。 3. チームプレイ力をアップ！ ⇒グループで協力し課題を達成する。親しくない人、苦手な人とでも一緒にやっていく。 					
評価方法と基準	<ol style="list-style-type: none"> 1)出席回数 50% 2)ワークへの取り組み姿勢 20%(不適切なスマホいじりなど、目に余るマナー違反は減点) 3)振り返り試験(後期最終日に実施) 30% 					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義 集団演習	<自己紹介ワーク>クラス仲間と交流する。 「10の基本スキル」をチェックする。	クラス仲間とコミュニケーションをとる。
2	5月15日	講義 集団演習	<クラスの理解>仲間のことを知る。 グループ会話を体験する。CSUアンケート	
3	5月29日	集団演習	<名画鑑賞>協同作業を体験する。 作品のタイトルとイメージを発表する。	
4	6月19日	講義 個人演習	<エゴグラム>心の構造とその特徴を知る。 自分の良いところを見つける。	日常の自分の行動を振り返る。
5	7月3日	集団演習	<なぞの宝島>情報をまとめて課題を達成する。 チームワークを体験する。	クラス仲間とコミュニケーションをとる。
6	7月17日	講義 集団演習	<アサーション>適切な自己主張を理解する。 上手な頼み方・断り方を学ぶ。CSUアンケート	自己表現と他者への関わりを振り返る。
7	9月4日	講義 集団演習	<CSU検定集中講義①>教科書学習。 「基本的対話スキル」を学ぶ。	教科書P8～P40を予習・復習する。
8	10月9日	講義 集団演習	<CSU検定集中講義②>教科書学習。 仕事に役立つ「自己表現スキル」を学ぶ。	教科書P41～P92を予習・復習する。
9	11月6日	講義 集団演習	<CSU検定集中講義③>教科書学習。 就活や仕事に必要な「社会的スキル」を学ぶ。	教科書P93～P124を予習・復習する。
10	11月20日	講義 集団演習	<CSU検定集中講義④>教科書学習。 顧客への「サービスマインド」を学ぶ。	教科書P125～P157を予習・復習する。
11	12月4日	集団演習	<砂漠で遭難！>コンセンサス(意見の一致・全員の合致)のとり方を体験する。	クラス仲間とコミュニケーションをとる。
12	12月18日	集団演習 講義	<バスは待ってくれない>協同作業を通して、 集団でのリーダーシップ機能を学ぶ。	
13	1月15日	集団演習	<おもしろ村>情報をまとめて課題を達成する。 チームワークを振り返り発表する。	
14	1月29日	個人演習	CSUの振り返り～記述小試験 CSUアンケート	CSUで経験したことを思い出す。
15	調整中	試験	CSU検定試験	
準備学習 時間外学習			様々な人と交流しながら、社会デビューに向けてのコミュニケーション力を身につける。	
【使用教科書・教材・参考書】				
教科書「コミュニケーションスキルアップ検定」 CSUオリジナルワークプリント				

授業名(時間割表記)	デッサン I A	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	佐賀 永康
学科・コース	クリエイティブデザイン科昼-1年A	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	驚異的な進化を遂げたAIの台頭によりデジタルツールを駆使できるようになったとしても新しい表現を身につけたとは言い切れない時代となった。本講義を今後のビジュアル文化を席卷するために「必要となる学び」とは何か問い直す機会とする。鉛筆と消しゴムを用いた伝統的なアナログ表現をの基本としながら、「自分で考え自分で解決する」ことを重視し絵を描くことを通して、自立した人材を確立することを目的としている。						
到達目標	デッサンは3年間通して履修するため一年間での習得完了は考えていない。 1学年前期では実習、講義を軸に展開しながら、常に復習を繰り返し 『自らの現在地を見極め、成長のために半歩踏み出す』ことを目標とする。						
評価方法と基準	以下2点を評価の基準とし総合的に評価する。 ①制作物の提出 ②授業の取組姿勢及び理解度						

回数	日程	授業形態	学習内容	学習の準備・心構え
1	4月21日	講義・実習	オリエンテーション/描画実習①	鉛筆デッサン用具一式
2	5月12日	実習	描画実習①続き	鉛筆デッサン用具一式
3	5月19日	実習	模写①	描画材料へ関心を高める
4	5月26日	実習	模写①	描くこと自体を楽しめるようにする。
5	6月2日	講義・実習	講評	諦めずに描ききる姿勢を持つ
6	6月3日	講義・実習	風景考察①	視野の拡張
7	6月9日	実習	人物表現①	人体への興味を持つ
8	6月23日	実習	人物表現①	自身の制作の糧となるよう取り組む
9	6月30日	実習	風景考察②	学んだ内容を自宅でも実践してみる。
10	7月7日	実習	ドローイング	修練を習慣化する
11	7月14日	講義・実習	デッサン①	自作について客観性を持って評価する
12	8月25日	講義・実習	デッサン①	他者との比較によって自作を評価する
13	9月1日	実習	講評	他者から評価されるまで制作を進める
14	9月8日	実習	デッサン②	視野を拡張させる
15	9月15日	試験	課題評価試験	
準備学習 時間外学習			前授業の復習および提示課題制作	
【使用教科書・教材・参考書】毎時限デッサン用具一式持参・教材、参考資料は随時配付 ※授業の進行にあわせ内容が変更する場合があります。				

授業名(時間割表記)	デッサンⅡA	必修 選択	選択	年次	2年	担当教員 鈴木弥栄子
学科・コース	クリエイティブデザイン科昼ー2年A・B	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 2	
教員の略歴	東京藝術大学大学院美術研究科修士課程(油画)修了。画家。					
授業の学習 内容	絵を描くことの基本は観察すること！デッサンで対象の観察・描写・修正という一連の作業を反復することで、正確に形を捉える技術・質感描写・陰影描写・画面構成力を獲得する。また、クロッキーで人体の構造を把握しながら、限られた時間の中での集中力と表現力を鍛える。					
到達目標	イラストを描くのに必要な、基礎的な観察力・描写力を身につけることを目標とする。 1年を通じて各々の描画のクオリティの上げ方を模索し、ポートフォリオに入れられるレベルを目指す。部分の完璧さを求めるのではなく、時間内で全体をベストな状態まで持っていくバランスコントロール力や客観性を身につける。					
評価方法と基準	以下を評価の基準とし、総合的に判断する。 作品提出率、客観的完成度、学生各自の習熟度、授業態度					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4/15,4/16	講義・実技	ガイダンス／画材説明／逆さまデッサン1	1日15分のクロッキー(週5枚)
2	4/22,4/23	実習	逆さまデッサン2	1日15分のクロッキー(週5枚)
3	5/13,5/7	講義・実技	全体講評／慣らしクロッキー(持ち回り)	1日15分のクロッキー(週5枚)
4	5/20,5/14	実習	女性モデルクロッキー(水着)	自画像のラフを考えてくる
5	5/27,5/21	実習	自画像デッサン1	1日15分のクロッキー(週5枚)
6	6/3,5/28	実習	自画像デッサン2	1日15分のクロッキー(週5枚)
7	6/17,6/4	実習	自画像デッサン3	自画像デッサンを完成させる
8	6/24,6/18	講義・実技	講評／手と足のクロッキー	復習(手と足のクロッキー)
9	7/1,6/25	実習	細密デッサン(靴)1	1日15分のクロッキー(週5枚)
10	7/8,7/2	実習	細密デッサン(靴)2	1日15分のクロッキー(週5枚)
11	7/15,7/9	実習	細密デッサン(靴)3	1日15分のクロッキー(週5枚)
12	7/22,7/16	講義・実技	講評／透明化・単純化クロッキー	復習(透明化・単純化クロッキー)、夏休み課題
13	8/26,8/27	実習	男性モデルクロッキー(水着)	1日15分のクロッキー(週5枚)
14	9/2,9/3	講義・実技	石膏デッサンあたりどり	1日15分のクロッキー(週5枚)
15	9/9,9/10	試験	課題評価試験	
準備学習 時間外学習			主に自主的なクロッキー口	
【使用教科書・教材・参考書】 適宜プリントを配布				
【持参する画材】デッサン道具一式(鉛筆・練りゴム・消しゴム・カッター・クロッキー帳)、講評用メモ帳				

授業名（時間割表記）	デッサンⅢA	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	小梨貞文
学科・コース	クリエイティブデザイン科昼-3年A	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 2		
教員の略歴	多摩美術大学油画卒業/イラストレーター						
授業の学習 内容	落ち着いてよく見る。描く前に多方向から対象を見て、形を理解する。見て描くことの意味を学ぶ。写メやスケッチしたモチーフをトリミングし、よいと思う構図や画面構成を考える。鉛筆の種類、芯の硬さの選択、芯の削り具合、筆圧を変える技術を身につける。練り消しゴムを使った技術を習得する。モチーフごとの形や色の変化を意識して陰影をつける。モデルを使用したクロッキー、スケッチにより人体の構造を把握する						
到達目標	イラストに繋がる表現の幅を広げる。構図、画面構成の視覚的効果を理解する。モチーフの位置関係・質感・固有色・陰影を、鉛筆の選択や筆圧など技法と結びつける。形を捉える能力を養う。日常的に描く習慣と伝達手段としての描く行為を身につける。陰影を単なる現象として描写するのではなく、モチーフの形や色に沿って表現する力を養う。ポートフォリオに完成度の高いデッサンを入れる。						
評価方法と基準	作品の完成度、課題提出率、制作態度を考慮し評価点を決定する。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月16日	実習	複数の割れた煉瓦と木槌とレモン2個	静物クロッキー
2	4月23日	実習	複数の割れた煉瓦と木槌とレモン2個	〃
3	5月7日	実習	ビンと玉ねぎとパプリカ	〃
4	5月14日	実習	ビンと玉ねぎとパプリカ	〃
5	5月21日	実習	鎖とブロック	〃
6	5月28日	実習	鎖とブロック	〃
7	6月4日	実習	白い布を被せたブロックとりんご2個	〃
8	6月18日	実習	白い布を被せたブロックとりんご2個	〃
9	6月25日	実習	石膏デッサン 部分のみ可	人体クロッキー
10	7月2日	実習	人体クロッキー モデルさん使用	〃
11	7月9日	実習	鳥の剥製 カラスは除く	静物クロッキー
12	7月16日	実習	鳥の剥製 カラスは除く	〃
13	8月27日	実習	幾何形体二種とビール瓶	〃
14	9月3日	実習	幾何形体二種とビール瓶	〃
15	9月10日	試験	課題評価試験	
準備学習 時間外学習			前授業の復習および提示課題制作□	
【使用教科書・教材・参考書】 デッサン用具一式（鉛筆・練り消しゴム・カッター・ガーゼもしくはティッシュ）プリント				